

国立から生まれた全国詩サークル運動の原点

どうぶつ会「ぼろくそ詩集」が寄贈されました

どうぶつ会「ぼろくそ詩集」

うんとへたなぼろくそその詩をつくろう

平野武利

うんとへたなぼろくそその詩ならこんなふうになんでもしゃべれるしなんでもかける

はじめからへたな詩だからまるで気がらくた

(ぼろくそ詩集第1号)

このような元気のいい、あたたかい呼びかけを巻頭において『ぼろくそ詩集』が誕生しました。発行は「どうぶつ会ぼろくそ詩サークル」。1952(昭和27)年から月1回のペースで、33号まで続きました。

「ぼろくそ詩集」について会員は、「なるほど／ポロクソかもしれない／しかし／この詩はみんな真剣です／万年筆を／エンピツを／ギョツとにぎって／一生懸命書いた詩です／真剣に生きようとする／生活のうた／心の叫びです」(2号 小沢貞志と書いています。「どうぶつ会」は、1951(昭和26)年、国立町(当時)に起こ

た文教地区指定運動で、女性や大學生などとともに活躍した青年たちが、運動勝利のあとに作ったグループで、読書、コーラス、図書サークルなど、さまざまな活動がありました。そのサークルの一つが「ぼろくそ詩サークル」です。

全国に広がる

詩集は「回覧のために四部に書



写し、それを重ねるとして、クレパスで表紙をかく、カッターを入れる」(5号「編集のこと」より)という会員の手作業によって作られ、一人ひとりに回覧されました。そのうちに会員の同僚など町の外からも希望があり、10号までの合本がガリ版印刷で1953(昭和28)年に発行されました。「ぼろくそ詩集」は全国的な詩

のサークル運動の出発点となりました。品川区の工場の女性たちはこの詩集を見て職場の詩サークルを始めたのです。「ポロクソな」と愉快な名前だろう／私もこんな詩が書いてみたい」(8号 M子)。こうして詩集「たんぼぼ」が生まれ、詩サークルは国鉄や銀行の職場へと広がりました。この文化運動は近年、民衆文化史の中で注目されています。

このように国立の文教地区運動の延長上に青年文化活動として展開され、全国に影響を与えた「ぼろくそ詩集」。これは国立の貴重な財産です。

複製本が寄贈されました

このたびこの詩サークルの中心だった平野武利さんから、10号までの合本をコピー・製本したものを寄贈されました。当時の手書き表紙のカラーコピーも付けられ、みんなで手づくりした雰囲気よく伝わってきます。市民の皆さんに広く読んでほしいとのことです。公民館図書室で手にとってご覧ください。ほかに中央図書館、北浦ラザ図書館、郷土文化館にも寄贈されました。

なお、どうぶつ会関係の資料などは、公民館図書室でご覧になることができます。

公民館会場の使用申込み方法を変える準備を進めています

現在の方法及び課題

公民館の会場使用は、先着順で申込みを受けています。しかし、先を争って早く並ぶことが普通になって、団体どうしの関係も悪くなるなどの問題が生じたため、市民が自主的に「公民館利用者連絡会」(公利連)をつくり、1971年から38年間にわたって、話し合い、譲り合いの精神で、事前に調整会を開き、申込開始日に1番に窓口に並んで、先着順の原則を守ってきました。

この先着順の方法は、公利連の代表がいつも1番に窓口に並ぶ負担があるため、調整会の結果を、優先的に(1番に並ばなくても)受付けてほしいという要望が出されてきました。

しかし、自主的な団体の公利連の調整会の結果を優先させるのは、公平性の原則を保てないということがあります。そこで要望の趣旨を考え、話し合いを続けた結果、公の仕事として公民館主催で調整会を行い、そこに参加し調整できた団体は、その時点で「仮予約」とする方法を検討しています。

新しい方法

これまで公利連が行ってきた自主的な調整会は、先着順の原則の中で行われてきましたが、今

後は公民館主催となり、この調整会の結果を「仮予約」として最優先します。当面は、これまで公利連が培ってこられた方法を踏襲する予定です。利用を希望する団体は、希望する日時、会場を書いた用紙を、所定の締切日までに、玄関正面の箱に入れていただき、団体の代表の方が調整会に参加していただきます。この調整会で、会場の多くが埋まってしまう(仮予約)されず、調整会に参加しなくても会場利用の申込みはできます。

なお、調整会で、重複希望などで話し合いが必要になった場合、公民館が間に立つのではなく、これまでの公利連の経験を活かして同じように市民どうしで調整をされることを望ましいと思われまので、ご協力を頂けるようお願いいたします。

新しい方法はいつから

今回の変更に当たっては、お知らせのための期間や、公民館の体制を整える必要があります。おおよその開始に時期については、2010年4月分の使用申込み(3月5日に公民館主催で調整会を行う)から予定しています。詳しくは「公民館だより」でお知らせしますが、引き続き皆さんのご意見をお寄せください。